



子育て支援センターだより

子育て支援センター ☎52 2315

雪もすっかり積もり根雪となり、毎日寒い日と雪かきが続きますね。11月には、インフルエンザも流行し大変でした。冬の間は、色々な流行り病気が蔓延しますので、外出後や食事前には必ず手洗いとうがいを行いましょう。

11月のにこにこ学級では、親子クッキングを行いおまんじゅう作りに挑戦し、石田栄養士の指導のもと、お菓子作りをしました。あんこを使用したお菓子でしたが、あんこが苦手な子どもも自分で作るとおいしく感じるのでしょうか、お母さんの分まで「おいしい、おいしい」と言いながらぺろりと食べていました。

3歳頃になると色々な物事に興味を示し、自我も芽生え自分で何でもやりたがりです。自分から作って見たから苦手だけど食べてみようと言う意欲もわいてくるのだと実感しました。この年齢は自信と達成したという気持ちを芽生えさせることが大切になってくる時期ですので、「危ないからだめ!」と言わずお家でも一緒にお料理やお菓子作りに挑戦してみたいかがでしょうか?一緒に取り組むことで、子どもの癖や性格(丁寧・おおざっぱなど)・集中力・興味の示し方などもわかりますよ。

また、冬になり家にこもりがちで運動不足解消と体力をつけて病気に負けない体づくりということで、ミニ運動会やサーキット遊びを行い、親子でとてもいい汗を流していました。春にも運動遊びを行いました、平均台をスラスラと渡ったり、両足ジャンプが上手になっていたりして、お子さんの成長をみる事が出来ました。

寒いから、かぜを引くからといってお家にこもりがちになると、免疫も弱まり、病気になりやすい体になってしまいます。冬でも外に出て雪遊びを満喫してください。足腰も丈夫になり、体力も付いてきますので、お子さんの体調や天気を見て、調子がよければどんどんお外で遊ばせましょう。

12月になると支援センターもクリスマス一色となり、親子遊びの広場・にこにこ学級・おひさまキッズでは、クリスマス会が行われました。それぞれの会に突然現れたサンタクロースにびっくりしていましたが、プレゼントをもらい子ども達は大喜びでした。

年末年始は慌ただしいかとは思いますが、大きな病気・けがのないよう良い年末年始をお迎えください。そして、また元気いっぱい姿を見せてくださいね。2008年もよろしく願います。

保育所の元気な子ども達

幾寅保育所

12月10日(月)ひまわり組の園児とお母さん達が幾寅寿倶楽部のおじいちゃん、おばあちゃんと餅つき会を行いました。サンタおじいさんと一緒に大きな杵を持って、ついたお餅は、きな粉餅やごま餅にして食べました。また、園児はおじいちゃん、おばあちゃんに歌や手遊びを披露し、一緒にゲームしたり、楽しい一日を過ごしました。



金山保育所

12月8日(土)父母の会主催で餅つき会を行いました。お父さんと一緒に杵を持って餅つき体験をしたり、ついたお餅はお母さん方が丸め、きな粉餅、納豆餅、あんこ餅、お雑煮などを作りました。この日はお世話になっている地域の皆さんを招待し、一緒に食べて交流し、楽しい一日を過ごしました。

